

会 議 録

会 議 の 名 称	中央小・星宮小再編成準備委員会 第6回学校運営部会
開 催 日 時	令和2年8月12日（水） 開会：午後6時30分・閉会：午後8時10分
開 催 場 所	産業文化会館第2会議室
出席者（委員） 氏 名	柿沼耕一部会長、森 安正、本城 純、舞原智治、櫛引浩士、武田好美、塚越要、宮浦 将、馬場充子、三田昌子
欠席者（委員） 氏 名	梶野美穂子、番場由季子
事 務 局	上野主幹、久積、田沼
会 議 内 容	（1）閉校記念事業について （2）校歌について
会 議 資 料	・資料1（閉校記念事業） ・資料2（閉校記念事業会則案）
そ の 他 必 要 項 事	傍聴人 なし

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局 部会長 事務局 部会長	1 開会 2 議事 (1) 閉校記念事業について 閉校記念事業についての説明を事務局からお願いする。 (資料説明) 他の事例を調べてみたところ、閉校式は、開式、国歌斉唱、告辞、校長あいさつ、来賓あいさつ、紹介、児童・生徒発表、校歌斉唱、校旗返納、閉校宣言、閉式という流れが一般的であった。 また、記念誌は、あいさつ、歴代校長や卒業生からの寄稿文、学校紹介、学校歴史は多くの学校が載せていた。他に、過去の全ての卒業写真、歴代の教職員の名前、文集などを載せているところがあった。 校長同士で話し合って、内容をまとめてみた。 中央小記念事業実行委員会会則を案としてお示しする。専門部として、総務部、記念事業部、記念誌編纂部と分けて考えた。総務部は全体の企画調整など、記念事業部は式典など、記念誌編纂部は記念誌などを実施する。事業として記念式典と記念誌の発行を行うとしている。実行委員の案として、学校運営部会、自治会連合会、地域有識者、学校運営協議会、PTA、学校職員としている。実行委員会と専門部に分け、専門部で決まった内容を実行委員会に提案して、了承してもらう形を考えている。具体的な委員の案としては、実行委員長に学校運営協議会会長、副実行委員長に学校運営協議会副委員長、実行委員に学校運営協議会委員、学校運営部会の中央小の委員、自治連会長、PTA顧問としている。事務局として、事務局長がPTA会長、事務局次長が5人い

	る P T A 副会長の内の 1 人、事務局役員が P T A 役員と学校としている。会計は P T A 副会長 1 人と P T A 役員 1 人としている。監事は P T A 監事としている。専門部の部長は指示や判断する立場として実行委員の中から選び、副部長は調整などで実際に動き回ることになるので P T A 副会長としている。部員については、残る P T A 役員を 3 つの部に分けると人数が少なくなってしまうので、推薦を受けた地域有識者に入ってもらいたいと思っている。 実行委員会発足までの流れは、学校運営協議会を開いて役割分担を決める。その後、P T A 役員会で具体的に誰がどの部会に入るのかを決めていく事を考えている。 地域の事情も異なるので、塚越校長から星宮小についても説明をお願いします。
塚越校長	柿沼校長と話し合って作成したので、P T A の組織など違う部分もあるが、大きな違いはない。あくまで案であるので、P T A や地域の事をよく知っている学校運営部会の委員の意見を聞いて、改善していきたいと思っている。
部会長	この案について、質問はあるか。
A 委員	確認だが、「会計は令和 2 年 9 月 1 日から」となっている。これだけのことを決めるのは時間がかかると思うが、9 月 1 日辺りを目安としているのか。
部会長	9 月 1 日は従来の 2 学期の始まりで切りの良い日である。また、なるべく早めに始めたいため、9 月 1 日としている。
B 委員	記念誌編纂部と編集部があるが、どちらか。

部会長	記念誌編纂部が正しい。
B 委員	寄付金と書いてあるが、集めるのか。
部会長	仮に入れたものであり、星宮小と相談しながら、今後決めていきたい。
部会長	事務局に確認だが、見沼中学校区の実行委員会と合わせなくても良いのか。
事務局	学校ごとに独自の閉校事業をしていただいて構わない。
部会長	学校や地域の事情は違うだろうから、これから各校に分かれて話し合ってもらいたい。
	(学校に分かれて話し合い)
部会長	それでは、中央小で出た意見を発表する。 ・スケジュール管理が大事である。 ・実行委員会と専門部と教育委員会は連携をとるが、会議などは各部で独自に動く。 ・記念誌について、対象や配布時期、ページ数、枠組みなど意見があった。 ・日程的に余裕がないので力を合わせてやっていきたい。 続いて、星宮小について、塚越校長より願います。
塚越校長	組織図を見ながら各部の業務を検討した。 ・市の予算がどのくらいになるのかを確認したら、まだわからない段階であるとのことだった。

	・ 記念掲示関係は総務部ができてから話し合う。 ・ 記念碑については予算的な面からも難しい。 ・ 感謝状は130周年記念で実施したことがあるので、参考になる。 ・ 記念誌については、古い写真を住民から集めるにも、時間がなく、コロナで会議の方法も考えていかなければならない中で、できる範囲でできる最大限の事をやっていきたい。 ・ 6年生の子どもがいるPTA役員は卒業しても実行委員会に残ってもらうか、先を見通した上で実行委員会を組織するかをPTA会長と相談することとした。 ・ PTAに男性が一人もいないので、おやじの会にも協力をお願いする。 ・ 実行委員長については、案とは違う方の名前もあがったので検討していきたい。
部会長	今日出た疑問点や課題については、学校と事務局で話し合って、今後の方向性を随時委員に伝えていきたいと思う。
部会長	(2) 校歌について 次に校歌について、前回の会議で意見が出た方の詳しいプロフィール等をまとめた。ゆかりのある方をお願いしたいという意見が多く出ていたので、行田市との関わりの部分も載せている。そのため、元学校の先生などプロではない方の個人情報が含まれた資料となっている。会議は公開が原則だが、本人に了解を取っているわけではないので、この部分は非公開としたいのだけれどいかがか。非公開にした場合は、会議録もその部分は公開しないことになる。 (異議なし)

部会長	それでは、非公開としたいと思う。 (協議結果) ・候補者が決定した。 ・候補者に打診し、受けてもらえるかを確認することになる。
事務局	3 次回の会議の日程について 9月の定例会は、校歌や閉校事業の進み具合により、部会長と相談して決める。 4 閉会